

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

コミュニティ スクール

NO.31

# C S 通信

2025年5月30日  
発行：布水中学校運営協議会  
布水中学校 校長 若狭朋幸  
地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

5月13日

令和7年度『愛と和 のいち5万人あいさつ運動』が、行われました。とても清々しい青空で、地域の方や保護者の方が、登校してくる生徒とあいさつを交わす声が、とても気持ち良かったです。



5月16日

2年生の家庭科の授業で、消費生活センターの方が出前教室を行っていました。

コンビニでおにぎりを買うという行為を事例とし、契約の流れの説明をしてくれました。オンラインゲームでの課金の罠やサクラサイトの話、寸劇仕立てで分かりやすく紹介しグループで問題点を討議し、グループの代表者が発表しクラスで共有しました。総括として、クーリングオフの制度や被害に遭った時の相談窓口の紹介がありました。

「おかしいな?」「こまったな!」と思ったときは、早めに保護者や相談窓口へ、相談しましょう。



5月29日

「SOSの出し方」を学びました。

石川県こころの健康センター 角田雅彦 氏を講師にお迎えし、命の大切さ授業が行われました。SOSの出し方とその重要性や悩みやモヤモヤを一人で抱え込まないこと。信頼できる大人、少なくとも3人に相談する大切さ。いじめや悩みを抱えている子どもの心理。自殺予防に関する調査結果。そして、友達に相談されたときの共感的傾聴の実践などお話しいただきました。また、相談機関の利用方法と注意点。SNSやメールでの相談のリスクも教えていただきました。

私は、角田先生の想い「みんなの将来あるかけがいのない命を守り続けたい。大切にしたいと心から思っています。」のフレーズに共感しました。また、地域の大人として、地域の子どもたちの「SOSの受け止める」ことが出来るよう学んでみたいと感じました。



## 「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

地域学校協働活動推進員 布水中学校担当の塚本 茂樹です。

この「CS通信」はコミュニティースクールとして、活動したことや活動していきたい事を含め私自身が中学校内で、感じたことを保護者や地域の皆様へ発信していきたいと思えます。

もちろん、中学校という教育機関の中で起こることですので個人情報などには充分配慮し、学校長の許可を得たもののみを発信しています。

お問い合わせは

布水中学校運営協議会

地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

E-Mail :

[fusuityu\\_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp](mailto:fusuityu_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp)

まで、メールでお願いします。